

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 5 年 12 月 1 日

所在地 富士吉田市新屋 5-1-1  
企業名 一般財団法人材開発センター  
代表者 代表理事 渡邊和紀

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

世界遺産の麓で事業を営むことは恩恵享受と同時に、責任も相応に発生するという意識のもと、環境悪化を抑制することを念頭にした経営・運営を重視していく。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 4 年 12 月 1 日	
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	教育機会の提供	施設利用者を年間 20,000 人まで引き 上げる	施設備品の刷新、研 修環境の整備を行 った。	(進捗率) 100%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	食品ロスの削減	年間残食量を 100kg 以 内に抑える	メニューの根本的 な見直しを行った。 比較的残されやす いものは提供機会 を減らした。	(進捗率) 100%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	プラスチック廃棄の削減	館内自販機から出るペ ットボトルのリサイク ル率を 90%まで引き 上げる	自販機業者の回収 率を除くと 80%は リサイクル場へ運 搬できている。	(進捗率) 90%

2030 年の目指す姿

2030 年はあくまでひとつの目安であり、以降も活動は継続していく。  
地域で随一の環境配慮型施設として認知されるよう、活動の幅を広げていきたい。  
活動内容は「質」を重視し、形だけで中身を伴わない活動になっていないかも定期的に振り返り、  
この 7 年の間で形にしていきたい。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。

- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて** 重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。